

平成 26 年 9 月 1 日、市長と市民のみなさんと協働で事業を進めている経営管理課、たつせがある課の職員との意見交換の際の話です。

企業や役所といった組織は、同じ目的や理念を持つ人たちの集まりです。高校や大学も、試験を行い、学ぶという目的を同じくする人たちの集まりです。

一方、住民は、さまざまな考えの方が、偶然、その地域で暮らしており、お互いを選べません。そういう意味では、所属する組織等を離れ、価値観や考え方もさまざまな人たちが集まって、一緒に何かをするという初めての経験が、西小校区共生ステーションのような市民参加の場かもしれません。

違う価値観、考え方を持つ人が集まって話し合いをすると、なかなか話がまとまりません。私は、それこそが「共生」だと思います。「変化」、「進化」はするけれど、「完成」はないのです。

顔を突き合わせてみんなでアイデアを出し合い、お互いを認め合い、次のステップを考えて進む。「違うなあ」と思ったら修正する。進んだり、戻ったり、行ったり来たりを繰り返して、少しずつ前に進んでいくのだと思います。地域では、突拍子もない意見を言う人も排除せず、その場に居続けられること、思い思いの意見を言える場があることが大切です。

今、長久手市のみなさんは、さまざまなワークショップの経験を積んできました。会社での価値観を離れて、意見の違う人を切り捨てず、議論ができるようになってきました。すごいことだと思います。



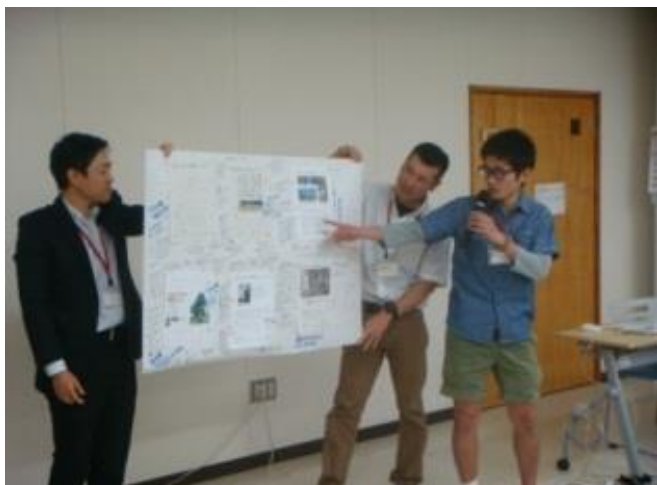
8 月 30 日開催「南の座談会」の様子

## 「共生」の練習中

これからのまちづくりでは、市民のみなさんが主体的に集いの場に参加し、話し合い、行動していただくことが大切です。地域共生ステーション(\*1)、幸せのモノサシづくり(\*2)、なでラボ(\*3)、地域福祉のための講演会(\*4)等、長久手市では、さまざまな市民参加の活動の場を設けて取組みを進める中で、今まで行政に関わりのなかった方々が、集いの場に出て来ていただけるようになりました。

しかしながら、いつも同じ顔ぶれだったり、思うように参加者が集まらなかつ

たりします。市民のみなさんは情報がないと参加できないのに、市役所は情報発信が上手ではないという大きな課題があります。



若い世代の市民と職員と一緒に活動する  
「なでラボ」の様子

長久手市の「幸せのモノサシづくり」の活動は、新潟県長岡市や本家のブータンでもモデルとして紹介されているそうです。「なでラボ」の活動も、他市から関心を持って見てもらっていますが、残念ながら、市内での認知度はいまひとつです。行政も努力しますが、こうした活動に参加された市民のみなさんにも、例えば、行きつけの喫茶店に活動内容を紹介したチラシを貼ってもらう等、市民ならではの方法で情報発信に参加いただけたらと思います。

情報発信が上手くできて、その結果、活動に参加する仲間を増やすことができたとき、初めて、本当のモデル事業になり、全国の自治体が視察に訪れるようになると思います。

日本は、2050年に向かって変わっていかざるを得ません。今は、市民のみなさんも市役所の職員も、これまでのように役所だけで進めるのではなく、市民のみなさんと一緒になって考え、活動する「共生」の練習中です。

今の練習を積み重ねれば、市民のみなさん自身がまちづくりの主役となり、地域の将来計画やお金の使い道、便利な制度やルールの新設など、さまざまなことが市民主導で行えるようになり、役所はそれを下支えをする形でやっていけるようになるのです。

\* 1 共生ステーション…市民、市民団体、事業者、行政などが、それぞれの地域で気軽に集い、語り、地域の様々な課題に対する取組みを行うための拠点。平成 25 年に西小校区で第 1 号が開設。現在、北小、市が洞小、南小校区において開設に向けての話し合いが始められています。

\* 2 幸せのモノサシづくり…「幸せのモノサシづくり」に取り組むため、有志の市民と市職員 21 名による「ながくて幸せ実感調査隊」を組織し、ワークショップを開催し、メンバー参加型でアンケート作成、分析を進めました。

\* 3 なでラボ…「ながくてできたてラボラトリー」の略。公募の 20～40 代の市民と市役所若手職員 56 名とで「地域のことを地域で考え、地域で取り組む新しいまちづくりの仕組みづくりを進めて

います。

\* 4 地域福祉推進のための講演会…地域福祉及び地域福祉計画への理解を深めていただくための講演会。平成 24 年度から始まり、平成 26 年 9 月 13 日（土）福祉の家での開催で 9 回目。

～市長の話を聞いて～

私は、8 月末、まちづくりセンターで行われた「南の座談会～南ステーション、みんなで作りませんか」に一市民として参加しました。南小校区の課題、魅力を再発見し、「やっぱり、こうやって集まる場がほしいよね」「南は南のやり方で、徐々にやっていきましょう」となりました。集まり、みんなで話し合うことから、何かが生まれると感じました。

次回は、9 月 20 日（土）午前 10 時から南小ゆうあいルームで開催されます。南小校区のみなさん、まずは集まってみませんか？